

令和元年度第1回健康づくり推進協議会ご意見

(令和元年8月21日開催)

※事前意見含む

No.	カテゴリー	ご意見	発言者	対応
1	レイアウト	4つのライフステージについても、7分野と同様に丸で囲んではどうか。豆知識や標語は後半に記載し、ライフステージと7分野のテーマカラーを統一するとよいのではないか。	岸川会長	ライフステージについて、色別にまるで囲んだ案も作成してみましたが、7分野のテーマカラーと混在し、分かりにくかったため、事務局案どおりとしました。 佐藤副会長のご意見のとおり、行動変容のためには、動機づけが重要ですので、まず表面で課題を意識していただき、具体的な取組について裏面を見ていただく作りになっています。裏面に目が行くよう、促す文章を加えます。
2	レイアウト	表面で知ってほしいことを掲載し、裏面を取り組んでほしいこと、行動につながる情報を掲載するというコンセプトを感じた。	佐藤副会長	
3	レイアウト	7分野テーマカラーに合わせて問題点を挙げた方がいい。	秋山委員	健康まえばし21の印象を定着させるために、表面は冊子と同様の色使いにしています。レイアウトや色調に共通点があると、次年度以降も健康まえばし21のちらしであることが伝わりやすいと考え、事務局案通りとします。
4	レイアウト	レイアウトを統一し、青と黄色の色使いが分かりやすい。	山田委員	
5	レイアウト	表に運動とたばこの文字を大きく分かりやすく入れたほうが分かりやすい。健康豆知識のイラストが子供には見えない。	高野委員	説明文の「運動」と「たばこ」をテーマカラーの太字にして目立つようにしました。イラストは、印刷業者に作ってもらうため、現状の大人のイラストに子どものイラストを加えて、全世代が元気に歩くイラストにする予定です。
6	レイアウト	説明文よりも7分野を大きく表示した方がいい。	五十嵐委員	説明文のスペースを縮小し、計画の全体像のスペースを広げ、7分野の文字を大きくしました。
7	レイアウト	色々な情報が盛り込まれ過ぎている。もう少し7分野を全体に推した方がいい。表面と裏面に運動とたばこの情報があり、まとまっていない印象。	北爪委員	たばこの情報を裏面に集約し、健康増進法の改正については、裏面にイラストを用いてまとめました。また、禁煙外来情報の二次元バーコードを掲載しました。
8	レイアウト	運動とたばこの情報は分けた方がいい。	福田委員	
9	掲載内容	たばこについて、裏面が受動喫煙の情報になっているが、たばこをやめようと思ったときにやめられる情報が掲載されとよい。	佐藤副会長	
10	掲載内容	たばこのところで改正された健康増進法が、令和2年4月1日より全面施行されます。多くの人が利用する施設が、原則屋内禁煙になります。→多くの人が利用する施設が、原則屋内禁煙になります。たばこのところで改正された健康増進法が、令和2年4月1日より全面施行されます。としたほうが分かりやすい	高野委員	

No.	カテゴリー	ご意見	発言者	対応
11	掲載内容	歯周病とちらしの重点テーマである喫煙との関係について触れてほしい。 歯と口の健康については、他の臓器の健康に比べて命に関わるという認識が薄いように感じる。口腔機能の低下は、健康寿命に重要な関わりがあるということを、地域住民に広く周知してほしい。	福島委員	たばこのところで、歯周病について触れました。今回は小さなスペースですが、歯と口の健康をテーマにちらしを作成する際は詳しく取り上げたいと思います。 健康教室においては、歯周病やオーラルフレイルと全身の健康への影響について周知しておりますが、今年度からはスマイル健診において個別歯科相談を実施し、青年期からの対策を強化しています。
12	掲載内容	運動が必要だということは分かっているが、何をすればいいかわからないという意見を聞くのでイラストや写真などで簡単な運動を紹介する等、目に訴えた方が役立つのではないかと。	八木委員	病気の予防ラインのグラフは、動機づけになる情報なので、表面に移し、大きくしました。裏面には外に出て歩くことが困難な人でも取り組める体操をイラストで掲載しました。
13	掲載内容	全体的に字が小さい印象を受ける。高齢期のグラフが見づらい。H29ちらしのように、歩行困難な人でも取り組める運動のイラストなどがいいのではないかと。	福田委員	
14	掲載内容	高齢者のところで病気の予防ラインが字が小さくて読みのくい。すごく参考になるのでぜひ大きく載せて頂きたい。	高野委員	
15	掲載内容	ウォーキングについて、10分でも効果があるというのは、忙しい人でもできそうと思える。医療費抑制効果についても、お徳感があり、取り組んでみたくなる情報。ここと高齢期のグラフがリンクするとうい。	山田委員	
16	掲載内容	ウォーキングの医療費抑制効果についての数字や標準体重の計算式に記載してある数字の根拠は何か。	新免委員	標準体重の計算式は様々な文献に記載がある(岸川会長より) 医療費抑制効果は国交省のガイドラインに基づきます。出典元について、小さくだが軽視しています(事務局より当日説明)
17	掲載内容	ウォーキングの医療費抑制効果だが、1歩あたりだと数字が細かい。もう少し分かりやすい数字がいいのではないかと。	塚田委員	医療費の抑制効果については、1日10分を1年継続した場合の効果を掲載しています(事務局より当日説明)
18	掲載内容	医療費削減効果は全年齢の平均値との捉えでよいか。	佐藤副会長	国交省のガイドライン作成の基礎とされた研究は国保加入者が対象となっているため、主には40歳以上のデータです。問い合わせがあった際は説明できるようにいたします。
19	掲載内容	健康まえばし21を初めて見る人も多いので、7分野を取り上げるといいのではないかと。	森委員	計画全体の周知として概要版や冊子は5年間通じて配布します。ちらしは1度だけの発行ではなく来年度の年間を通じて事業や各機関で配布をしていくものです(事務局より当日説明)
20	大きさ	A3見開きが読みやすいのではないかと。	岸川会長	予算上35000部作製予定ですが、、A3両面折り込みにする、25000部しか作成できません。計画全体の周知は概要版を用いて、ちらしについては、広く気軽に配付できるようA4で作成したいと考えます。
21	大きさ	A3がいいのではないかと。	八木委員	

No.	カテゴリー	ご意見	発言者	対応
22	妊娠期～学齢期	グラフがあったり、喫煙率ワースト1位などキャッチー、話題として子供たちに話したい。このように問題提起をしていただくと、自分のこととして考えられる。小学生の肥満や運動しない児が多いことについては、イラストもいいが、市の施設で自由に言って体を動かせる情報を掲載してはどうか。	笠原委員	素案においても児童館情報の二次元バーコードを入れていましたが、分かりにくかったため、「児童館の情報はこちら」と示しました。同様に、市内の大型公園の情報も二次元バーコードで示しました。
23	妊娠期～学齢期	妊娠期～学齢期の取組は、イラストよりもどこで遊べるかの情報を掲載した方がよい。	福田委員	
24	妊娠期～学齢期	若い母親は母親自身がサポートを必要としている。「こうしたらいいよ」という働きかけは役に立たないことも多い。まずは話を聞いて何ができるかを探ることが重要。	山田委員	地区の健康状況の共有でも言えることですが、ご意見のとおり、やるべきことを示すだけでなく、その必要性を感じられるように動機づけすることが重要ですので、今回のちらしについても、表面が動機づけ、裏面が具体的取組となっています。その他事業にもおいても、まずは市民の声を聴くことを意識して取り組みたいと思います。
25	妊娠期～学齢期	保健推進員は乳幼児に関わる。親子の触れ合いの少なさから、引きこもりや自殺の問題などが増えていると感じる。親子の問題を社会の問題と捉えて、幼児期からの親子のふれあいの機会を増やすことに力を入れてほしい。	大森委員	様々な状況の方が目にするちらしであるため親子の触れ合いに限定することは難しいですが、親子で元気に遊んでいるイラストを掲載し、間接的にふれあいの重要性を伝えたいと思います。
26	標語	標語については、夏休みの宿題にするといいいのではないか。	秋山委員	健康標語募集の目的は無関心層にも興味をもっていただくことであるため、周知についてはご意見を参考に検討いたします。
27	標語	標語については、協議会の意見を踏まえていただけた。作ってもらうことが啓発になる。夏休みの宿題や企業連携を活用し、啓発しながら募集ができるとよい。	佐藤副会長	
28	重点テーマ	重点課題と重点テーマについては、どのように考えればよいか。	塚田委員	重点課題は計画満了までの5年間で行政として力を入れる課題であり、本日検討いただいている重点テーマは7分野をバランスよく周知するために、各年度で取り組むテーマとなっています(事務局より当日説明)
29	地区分析	集団健診実施地区とそうでない地区を比較してはどうか。かかりつけ医を持ち、個別健診受診者が多い地区と異なる傾向があるかもしれない。	岸川会長	可能な範囲で検討させていただきます(事務局より当日説明)
30	地区分析	地区別データは分かりやすい。地区組織と情報共有の機会を設けているようだが、もう一歩進んで地区の話題になっていくと、地区を巻き込んでいける。	佐藤副会長	地区別データについては、各地区組織と共有するとともに、保健推進員を中心に、要因や課題の明確化、今後の取組についても検討を行っています。重点的に介入した宮城地区においては、地区内の回覧や学校保健員会での周知などにより、地区住民にも共有されてきていると感じます。この取組をモデルに、各地区に広げていきたいと考えます。

No.	カテゴリー	ご意見	発言者	対応
31	地区分析	資料1-3のH29年度分健診等のデータは「H29年度分健診等の地区別データ」としたほうが分かりやすいのでは。地区により結果に偏りがある。重点的に働きかけが必要ではないか。	高野委員	資料1-3は別添資料も含め、2枚の資料ですが、中には地区別でないデータもあるため、提示した表現になっています。課題が重複していた地区については重点的に介入し、地区住民の意識向上など成果が表れ始めているため、この取組をモデルに広げていきたいと考えます。
32	歯と口の健康	宮城・大胡・粕川はう歯率も高く、HbA1c有所見者割合が高い地区と重複している。地区全体で運動も必要だが、定期的な歯科受診で糖尿病の検査データも改善につながることを広く周知してほしい。	北爪委員	人数が少ないため地区別で表せないデータもあるが、今後も様々な切り口で地区分析を進め、全庁的に各年代での周知が図れるよう取り組みます。
33	歯と口の健康	う歯は家庭内感染症であることをもっとPRしてもいいと思う。	岸川会長	子育て支援課においては、妊娠中から乳幼児の口腔ケアについての周知啓発を行っています。また、各種健康教室にて、家族ぐるみで感染予防、口腔ケアの正しい知識の普及を図っています。
34	健康診査	がん検診や成人歯科健診について、大学での周知を予定しているとのことだが、市内の大学に通っているが市外在住の学生、またその逆もある。ぜひ県内大学に働きかけをお願いしたい。	佐藤副会長	子宮頸がん検診について、市内全大学にポスター・ちらしを配布、可能な大学は講話にて周知をしています。市内・市外在住の学生それぞれに受診を促す内容としています。成人歯科健康診査についても、今年度より、同様の取組を予定しており、前橋市在住の学生だけでなく、すべての学生に健診(検診)受診の重要性を伝えたいと考えます。
35	健康診査	30～40代に卵巣がんが多いと聞く。有料でもいいので、健診をしてほしい。	大森委員	(岸川会長・矢沢保健所長)卵巣がんについて、健診で早期発見できるというエビデンスがない
36	栄養・食生活	資料1-1(5)1人で食事をする高校生の割合が増加しているのはなぜか。	高野委員	昨年度の中間評価においても議論されたところですが、通学時間や部活動、塾などの影響があり、ライフスタイルの変化により1人で食事をする子どもの割合が増えているものと思われます。
37	栄養・食生活	高齢者の痩せと肥満の二極化が心配される。	高野委員	高齢者はフレイルが注目されていますが、少なくとも特定健診の対象となる高齢者(65歳から74歳)については、壮年期に引き続き、肥満やメボリックシンドロームの予防が重要であることから、健康教室等での周知に努めます。